



いぶすき 市議会だより

【目次】

- 審議された主なことから…………… P 2 ～P 3
- 委員会審査報告…………… P 4 ～P 6
- 13人の議員が一般質問…………… P 7 ～P 13
- 18歳選挙権アンケート結果…………… P 14 ～P 15
- 議案審議結果…………… P 16

成川で3年ぶりの舞

10月23日、成川総鎮守の南方神社に伝わる神事の一つ神舞が、成川保育園の園庭で奉納されました。350年以上続く伝統行事で、成川区民の無病息災と五穀豊穡を願い、現在は3年おきに舞われます。前日からは、祓いを必要とする新築家庭をはじめ、家内安全や商売繁盛を願う家庭を回るグレも行われました。

審議された主なことがら

平成28年9月定例会では、定住自立圏形成方針に関する案件1件、条例に関する案件1件、平成28年度各会計補正予算に関する案件8件、平成27年度決算に基づく、財政の健全化比率および公営企業の資金不足比率に関する案件2件の計12件が審議されました。

審議された主なことがらは、次のとおりです。

**一般会計補正予算を修正可決
予算総額 255億1,707万円に**

市が進める地熱開発の 理解促進事業予算を減額

議案第89号・平成28年度指
宿市一般会計補正予算（第10
号）に含まれていた、市が進
めている地熱発電事業に対す
る市民の理解促進を目的とし
て開催する講演会および座談
会に要する費用（24万円）を
減額する修正案が議員提案に
より提出されました。

修正案および原案に対する
賛成・反対双方の討論がなさ
れ、起立採決の結果、修正案
は可決されました（修正案に
対する各議員の賛否は16ペー

ジに掲載）。

なお、修正箇所を除く部分
は原案のとおり可決され、一
般会計の歳入歳出の総額は、
255億1707万円となり
ました。

各特別会計の補正予算およ
び条例改正案ならびに定住自
立圏形成方針は、それぞれ所
管の常任委員会において審査
され、いずれも本会議におい
て原案のとおり可決されまし
た。

【事業内容】

地熱の理解促進事業を活用

し、市民を対象とした講演会
や観光関係者を対象にした座
談会を開催するための予算で、
内訳は講師の謝金・旅費、消
耗品費、チラシの印刷製本費
である。

【修正案の提案説明】

3月25日、議会が掘削に関
する予算を認めなかったにも
関わらず、3月31日に温泉掘
削許可申請を県に提出し、4
月5日実施予定の地元説明会
で地元住民の理解を得ること
ができたと記載してある。こ
れまでの議会答弁、説明会等
で、市民の理解は得たとし
ていることから、この予算は必
要ない。



ヘルシーランド内の掘削予定地

【討論】

修正案に反対（原案賛成）

○議会はこれまで、住民に丁寧な説明を行うよう執行部

に求めてきた。今回の予算
は、この指摘に沿うもので
ある。市民に地熱資源の有
効かつ持続可能な活用の在
り方などを理解してもらう
ものであり、このような情
報は広く、正確に提供する
必要がある。

修正案に賛成

○温泉掘削許可申請の内容が
最近明らかになった。議会
で認めなかった事業に関す
る予算を執行し、市民から
の不安の声を都合のいいよ
うに解釈する。民主主義を
冒涇するような行為を行う
執行部の体制下において、
地熱発電事業はするべきで
はない。

○執行部から出された資料や
一般質問のやり取りの中で、
中には反対しているのに事
実をゆがめて賛成している
とし、また住民説明会では、
質疑応答があったただけのも
のを賛成と捉えるなどの事
実が明らかになっている。
今後において、講演会や座
談会が関係者の賛成を得た
という材料にされかねない。

歳出補正の主なもの

総務管理費

- 前年度決算剰余に伴う減債基金積立金 2億円
- 前年度決算剰余に伴う公共施設整備基金積立金

- 通学路の防護柵布設替に伴う工事請負費 2億円

戸籍住民基本台帳費

- 通知カード・個人番号カード交付事務に伴う地方公共団体情報システム機構への交付金 384万円
- 通知カード返戻分の交付および個人番号カードの申請後の未受領者への交付事務に係る臨時職員の賃金 640万8千円

社会福祉費

- 地域介護・福祉空間整備推進交付金事業 55万4千円

- ※内訳は、介護ロボット導入支援事業（92万7千円）および既存介護施設等のスプリンクラー整備支援事業（492万4千円）に伴う補助金

児童福祉費

○児童扶養手当法の一部改正に伴う扶助費 776万6千円

保健衛生費

○B型肝炎ワクチンの定期接種化に伴う委託料 468万円

○地域の資源を活用したヘルスケアビジネス創出事業に伴う地域食材の健康に及ぼす機能性評価試験委託料等 588万6千円

商工費

○ヘルシーランド非常用発電設備、恵美寿温泉エアーホース等の故障に伴う修繕料 123万7千円

○砂楽空調設備および配電盤の故障等に伴う修繕料 277万7千円

○レジャーセンター隣接の旧プール跡地の法面崩壊防止に伴う工事請負費 300万円

土木管理費

○木造住宅耐震化促進事業に係る補助金 60万円

道路橋りょう費

○市道宮ヶ浜大門口線側溝改修工事に伴う工事請負費 278万円

○市道松原田和田園線改良舗装工事に伴う工事請負費 2910万円

住宅費

○市営住宅手摺・立格子取替改修工事に伴う工事請負費 350万円

消防費

○防火水槽修繕業務および撤去業務に係る委託料 180万円

○コミュニティ助成事業助成金決定通知に伴う岡児ヶ水区自主防災会に対する防災備品購入に係る補助金 200万円

教育総務費

○災害教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業に伴う備品購入費等 141万7千円

社会教育費

○中央公民館、徳光・利永校区公民館共同学習室空調機の設置および取り替えに伴う備品購入費 318万6千円

○指宿図書館事務室等の漏水等に伴う修繕料 178万2千円

保健体育費

○学校給食センターの自動洗

浄機用かご等の取り替えおよびボイラー蒸気配管減圧弁等の故障に伴う修繕料 440万円

介護保険特別会計 補正予算(第1号)

○介護保険料の誤徴収による過誤納金等の通知に係る通信運搬費等 182万7千円

※電算システムの処理日入力ミスにより、市民約1万3千人の年金から誤った金額

の介護保険料が天引きされたことに伴う還付手続きや追加徴収に要する経費

介護認定審査会費

○臨時職員の制度改正に伴う社会保険料の増 8万1千円

償還金及び還付加算金

○平成27年度介護給付費等の確定に伴う精算返納金 6059万9千円

一般会計繰出金

○平成27年度介護給付費等の確定に伴う一般会計への繰出金 2224万5千円

陳情の審議結果

9月定例会では、新たに提出された陳情1件と継続審査となっていた陳情1件を総務水道委員会でも審査しました。その結果、いずれも継続審査となりました。

■陳情第4号

指宿山川太陽光発電開発に伴う大規模林地開発反対に関する陳情書

■陳情第9号

「地熱発電所新設」に関する反対陳情書

市定住自立圏形成方針を策定

策定の趣旨

○市町村合併をした市域を一つの圏域と捉え、中心市宣言をした指宿市において、それぞれの地域（指宿・山川・開聞）が相互に役割分担し、連携して取り組むことで、住民が住むことの喜びを感じ、誇れる豊かな圏域を形成するための方針を定めるものです。

主な内容

1. 基本方針

指宿市総合振興計画および指宿市まち・ひと・しごと創生総合戦略を踏まえ、圏域全体の活性化を図る。

2. 取組事項

- (1)生活機能の強化に係る政策分野
 - ・医療体制の充実、健幸のまちづくりの推進
- (2)結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 - ・公共交通機関の充実
- (3)圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 - ・人材の育成、外部人材の活用

※ 指宿市定住自立圏構想推進要綱の規定に基づき、定住自立圏形成方針を策定するため、指宿市議会の議決すべき事件を定める条例第2条第2号の規定により、議会の議決を求めたものです。



総務水道委員会

主な委員会審査報告

定住自立圏形成方針の策定

問 取組事項の三つの政策分野は、どのような理由で選択したのか。また、教育や産業振興の分野は、なぜ漏れたのか。

答 人口減少社会にどう対応していくかが大きな視点であり、特に医療と交通の分野について、重点的に深く議論すべきであるという結論に至った。

問 今回の形成方針は、これ以上で出来上がりという発想なのか。形を作って、これから中身を補充するという発想なのか。

答 形成方針に基づき、今後、共生ビジョン懇談会において圏域の現状・課題、将来像等を踏まえ、各分野の具体的事業を掲げていく。また、この形成方針を変更する場合は、議会の議決が必要となる。

問 地熱の恵み活用プロジェクト事業に伴う講演会と座談会は、どのような内容でいつごろ行うのか。

答 講演会は市民を対象として12月20日開催予定で、地熱資源の有効活用と温泉保護の両立に向けた講演内容である。また、座談会は観光関係者、特にホテル・旅館の皆様を対象に12月21日開催予定である。

28年度一般会計補正予算

地熱開発理解促進事業について

思っており、参加者の意見を聴いて市の判断が変わることはない。

問 講演の内容は、市が掘削する部分だけの話なのか。それとも九州電力や多摩川エナジーなどの民間事業者が計画している事業も含まれるのか。

答 地熱開発全般の話になると思うが、内容は市の取り組みを中心にしたものなると考えている。

去するとのことだが、それに代わる防火水槽の設置については計上されていない。これは使用していない防火水槽を撤去するだけなのか。

答 今回撤去する防火水槽は、現在も使用している水利である。消防水利は、防火対象物から140m以内に1カ所設けなければならないことになっているが、今回この防火水槽を撤去したとしても、近隣に消火栓や防火水槽があることから、基準は満たしている。

問 講演内容は、市の事業についてのことだが、調査井戸を掘って熱源を事業者に供給するまでなのか。それとも、周辺の開発計画のA案・B案まで含めた全部ということになるか。

答 今回計画しているのは、今現在の状況である。まずは、市民の不安を取り除くというのを主体的に考えて進めていきたい。その後、開発計画は、実際に調査井戸を掘って、どれぐらいの蒸気量があるかが分からないと周辺開発の話はできない。

しかし、撤去することにより、地域の消火能力の低下が想定されることから、今後、消防施設整備費補助金等を活用して、付近に耐震性の防火水槽設置を検討しているところである。

問 定住自立圏構想は、中心地域と連携地域として定めた圏域全体の活性化を図ることが目的だと思おうので、全ての項目を盛り込むべきではなかったのか。

答 国の支援措置である7千万円弱の特別交付税を受けるには、昨年12月までに中心市宣言をして、定住自立圏構想を定める必要があったこと。また、各課の事業を積み上げたところ、医療と交通の部分だけで7千万円以上になったことから、重点的な議論と国の支援ということを鑑みて、二つの分野を選択した。

問 共生ビジョン懇談会の委員は、どのようなメンバーで構成されているのか。

答 定住自立圏の取組内容に関する分野の代表者等で構成している。メンバーは地域代表として、市公民館連絡協議会の各地域から1人ずつの3人、地域女性団体連絡協議会から1人、医療分野から医師会会長と指宿医療センター院長の2人、交通分野からタクシー協会会長と鹿児島交通指宿営業所長の2人で計8人である。

問 行政として推進していくという立場で開催する講演会・座談会なのか。また、市民や関係者の意見を聴いて、場合によっては市の判断が変わることも可能性としてあるのか。

答 質問等も受ける双方向の形を考えている。内容は、市民の中には地熱開発に不安を抱えている方もいるので、疑問に答えながら正しい情報を提供し、事業を理解してもらうことが目的である。一方、座談会は、観光業界の中で言われている温泉の枯渇問題等について考え方の整理ができればと

反対討論があり、起立採決の結果、起立多数で原案可決

防火水槽の撤去について

民有地内の防火水槽を撤



市内に470カ所ほど設置されている防火水槽

全員一致をもって原案可決

文教厚生委員会

主な委員会審査報告

ひとり親家庭等医療費助成に関する条例改正

問 市内のひとり親家庭は、何世帯あるのか。

答 27年度末で524世帯、年間の支給件数は1万2216件で、支給額が2935万3026円である。

全員一致をもって原案可決

28年度一般会計補正予算

緊急地震速報システムによる災害教育について

問 災害教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業として購入する備品は何か。また、どのような取り組みをするのか。

答 購入する備品は、緊急地震速報システム2台で、同システムを活用した実効性のある避難訓練や学校防災アドバイザーなどを活用した防災教室、職員研修の実施により、学校における防災教育、安全管理等の充実を図る。

問 緊急地震速報の機械2台は、どこに配備するのか。

介護ロボット導入支援事業について

問 介護ロボット導入支援事業とは、どのような事業か。

答 2台分の予算だが、モデル校に指定した指宿小、柳田小、丹波小の3校に1台ずつ配備したい。

問 モデル校は指宿地域の3校だが、山川・開聞地域の学校には配備しないのか。

答 今年度は、3モデル校で緊急地震速報システムを使った避難訓練を実施予定であるが、持ち運びができるため、来年度以降は、モデル校以外の小・中学校でもこのシステムを活用した避難訓練をやっていききたい。

マイナンバーカードの交付状況について

問 マイナンバーカードを申請した市民は何人か。

答 7月末現在の申請者数は3496人であり、そのうち、2887人に交付済みである。また、通知カードが本人に届かず、市に戻ってきたものが2693件あり、そのうち2288件を交付したが、遠方ですぐに取りに来れない人や施設入所、入院などで未交付の405件については、市から出向いて交付している。

格外のオクラの有効活用的一面から、パウダーにしたものをカプセル状にして服用する。まずは動物で摂取量を計算する試験を行い、その量に基づいて、市民モニターに食後、カプセルを摂っていたら。市民モニターに食後、カプセルを摂ったのはプラセボといわれる偽物を摂っていたら、比較試験をしていく。

問 血糖値が下がるといふ成果・結果が出た後は、どのような展開になるのか。

答 地域食材のブランド化というところを目指しながら、健康食メニューとして販路拡大につなげたい。

問 オクラパウダーの効能は。

答 オクラパウダーには、高濃度のポリフェノールが含まれ、酸化機能、肝臓の数値を改善する効果、排便作用などが挙げられる。

全員一致をもって原案可決

28年度介護保険特別会計補正予算

保険料の誤徴収について

問 今回の誤徴収は、チェック体制そのものが原因だと思いが、どのような流れになつていったのか。今後の再

発防止策はどうするのか。

答 国保税、介護保険料、後期高齢者医療保険料と三つの医療保険に分かれており、保険料ごとに担当1人で業務を進めており、チェック体制ができていなかったのが現状である。今後は、担当者として上司によるダブルチェック体制を敷いていく。

問 今後の処理予定は。

答 8月に年金から引き落とされた保険料の市への振り込みが9月12日の予定で、その後、収入消し込みを行つてから、還付通知や納付書発送の準備をし、10月上旬に通知書の発送、10月末に振り込み予定である。

問 うそ電話詐欺の被害防止はどうするのか。

答 まずは市のホームページに、税金等の還付金詐欺にご注意くださいと掲載した。また、防災行政無線で放送をしたほか、市内の金融機関とコンビニに出向き、ATMに注意看板を置かせてほしいとお願いをした。市政事務嘱託員にも今後、各地域で行われる敬老会等でうそ電話詐欺への注意喚起をお願いする。

全員一致をもって原案可決

28年度一般会計補正予算

市道の改良舗装工事について

問 市道松原田和田園線の改良舗装工事は、幅員・延長はどれぐらいで、歩道の設置はされるのか。

答 延長27m、幅員8・5m、歩道は2mを予定している。

問 スクールゾーン委員会からは、どれだけ要望等が挙がり、緊急的に改善しなければならぬ箇所は、どの程度あるのか。

答 土木課分だけではなく、県や危機管理課の分もあり、全体の件数は把握していない。緊急的なものは、維持費等を使って整備しており、事業費を伴う大きなものは、改良等も含めて進めている。

木造住宅耐震診断の補助金について

問 木造住宅耐震診断の補助金対象となる建物は、何戸ほどあるのか。

答 昭和56年5月末までに着工された旧耐震基準で建てられた約9500戸を対象とする予定である。

とする予定である。

問 補助金の額は1戸当たり、あるいは㎡当たり幾らとなるのか。また、集合住宅はどのようになるのか。

答 補助率は、1戸当たり対象経費の3分の2で、補助額の上限を6万円と考えている。対象は、戸建ての木造住宅（併用住宅も含む）で、共同住宅等は現在のところ対象とはしていない。

問 木造住宅の耐震診断は、幾らぐらい掛かるのか。

答 先進地等の例から、大きさによって異なるが、10万円から15万円程度で、坪当たり幾らという基準はない。

問 耐震診断の結果、耐震改修が必要となった場合、どのような対応をしていくのか。

答 耐震改修の補助制度も、来年度以降に制定したい。

問 木造の耐震改修工事費用は、幾らぐらい掛かるのか。

答 先進地の実績としては、100万円から150万円程度掛かると聞いている。

畑かん事業について

問 南部揚水機場内のフェンスの取り替えは、市と土地改良区で負担する部分が区分されているのか。

答 国営造成による施設については、市が管理委託を受けている。

問 積立金はどのような使い方をするのか。

答 条例を定め、基幹水利事業にだけ使う財源として基金を積立ててある。

恵美寿温泉について

問 恵美寿温泉の湯管は、だんだん径が小さくなっていくが、温泉を十分に採れるのか。今後の見通しは。

答 年間の点検を2回から4回にしている。故障前に改めて掘るか、また別の場所に掘り直すか、あるいは、民間が行っている地熱発電の部分の湯量を活用するの

か、泉源確保は総合的に進めていかないといけない。

指定管理施設の修理費について

問 ヘルシーランド、砂楽の50万円以上の修理は、市が修理しているが、指定管理者である程度の修理はお願い

いできないか。50万円以下の修理は、どのくらいあるのか。

答 毎月1回、連絡会議を行い、実情的な部分は把握している。50万円を超えるまで修理しないことがないようにはしていきたい。小さいポンプや調理用品、備品は、指定管理者が交換している。

えびろんはつす池田について

問 指定管理者が契約途中で撤退し、当面、市の直営となるが、撤退した指定管理者との契約内容は。

答 平成27年4月から32年3月の5年間で、指定管理料は予算が635万円、四半期ごとの支払いで、1期分が210万円、2期分が140万円である。

問 契約取り消しは、罰則規定があるのか。

答 罰則規定はない。

問 芝生広場の年間管理費は幾らか。

答 60万3504円である。

問 指定管理を辞める要因は何か。

答 運営資金の不足に伴い、事業計画の遂行が極めて困難だということである。

問 運営状況について、指導等は随時行ってきたのか。

答 27年度は、代表と34回ほど打ち合わせをした。現場にも20回ほど足を運び、メールでやり取りをしながら状況を把握して、改善を求めてきた。

問 今後は、どういう形でやっていくのか。

答 物販や食堂については自主事業の部分であり、今後早い段階で関係機関と協議をしていく。

全員一致をもって原案可決

28年度公共下水道事業特別会計補正予算

問 長寿命化設備工事は、何年ごとにやり替えないといけないものなのか。

答 処理場、汚水中継ポンプ場の機械・電気設備機器が耐用年数を経過しており、機能低下等により、維持管理に支障が出てきている。耐用年数がきているから、全てを更新しているというものではなく、現地の機器等を調査し、劣化の著しいものから順次更新を進めているような状況である。

全員一致をもって原案可決

市政の

《一般質問》

ここが聞きたい



9月定例会では、13人の議員が市政の各方面にわたって質問を行いました。

掲載の内容は、主な項目についての質問と答弁の要旨であり、質問者の文責によるものです。

なお、本会議の会議録は市議会事務局、山川・開聞庁舎、図書館および市ホームページで閲覧できます。一般質問などの詳しい内容については、会議録をご覧ください。



吉村 重則議員

臨時職員の待遇改善について

問 合併時と比べて、正規職員と臨時職員の仕事量の変化について。

答 正規職員が160人減員、臨時職員が72人増員、権限委譲や制度改正等に伴う事務が増加している。

問 正規職員並みの仕事をこなしている臨時職員の待遇改善をすべきではないか。

答 今年から、通勤手当相当額を賃金として支給している。

問 常勤に近い特別職員に対しても、通勤手当相当額を支給すべきではないか。

答 財政的な状況等を勘案し、他市の状況等も調査しながら検討していく。

問 今後、臨時職員の待遇改善について、どのように考えているか。

答 鹿児島県の最低賃金の動向や他都市の状況を踏まえながら、定期的な賃金単価の見直し、福利厚生も含めた待遇改善を図っていききたい。

わんぱ園について

問 前回の一般質問後、職員の待遇改善はされたのか。

答 職員の待遇等については、社会福祉協議会の規則等に定められており、正規職員は定期昇給や賞与が付与されている。嘱託職員は、今年から月額賃金として見直しをしている。非常勤パート職員については、今年から通勤手当が付与されている。

問 療育は、子どもに非常に大事な時期であり、親が通園させたいという声があるが、定員の増員はできるのか。

答 さつき園の療育活動が充実しているから同園に通わせたいという保護者の意向は、尊重しなければならぬ。待機児童の調査も含めて、慎重に検討していきたい。

問 社会福祉協議会の職員が園長を務めているが、単独で園長を置く考えはないか。

答 職員の充実を図る観点で、正規職員2人、月額嘱託職員3人、非常勤職員4人を配置しており、職員一体となってさつき園の運営に当たっている。基準省令にも抵触しておらず、現在のところ専任の園長を置く考えはない。



東 伸行議員

山川高校の存続問題について

問 現在の取り組みと、外国人の若い人たちを生徒として受け入れることはできないか。

答 山川高校の置かれた意義、立場と、いのを十分尊重しながら、市も生徒の募集・確保に向けて今後も努力していききたい。本市にとって農業高校という存在意義は、極めて大きいものがある。外国人の受け入れについても、可能性を含めて検討したい。



市の農業振興に貢献している山川高校

小・中学校の統廃合問題について

問 統廃合ありきか。現在の小規模校状態で、存続していく施策はないか。山川・開間地域の小中一貫校の審議

状況はどうか。

答 統廃合ありきということではないが、過去2年間の学校のあり方について考える会の検討結果として、山川・開間地域では小中一貫校を望んでいるという報告を受けている。今後、児童・生徒数の増が考えられない場合には、学校の適正化を図る取り組みもしていかなければならない。小中一貫校については、望ましい学校づくり推進委員会に今年度末をめぐりに方向性が示せるよう、検討をお願いしている。

問 また、考え方として、小・中学校を同時にするのではなく、先に中学校を統廃合・再編して、状況を見ながら、地域の声を聴きながら、小・中学校一緒になった統廃合、つまり小中一貫教育を目指した学校の在り方、それも模索するべきだろうと思う。

校区公民館について

問 山川地域の徳光・利永校区公民館の現状は、どうなっているか。

答 いまだに両校区に単独の校区公民館がないことについては、本当に申し訳なく思っている。できれば、来年4月から各校区に校区公民館ができたらと、そういう意味で努力する。それには、地域の方々や関係部署の協力をいただかなければならない。



恒吉 太吾議員

鹿兒島国体に向けた取り組みについて

問 サンシティホールいぶすきは、年間4万人を超える利用がある。今後、保育園・幼稚園の運動会や菜の花マラソン時の荷物置き場、そして、市民が利用しやすい施設となるため、人工芝生化の考えはないか。

答 利用団体等からも人工芝生化の声が届いており、必要性を感じている。今後、利用者の利便性向上のためにも協議・検討していく。

問 開間総合グラウンドの小石の除去は、どのように整備するのか。

答 全ての小石の除去は難しいことから、表層土全面入れ替えの改修工事を計画している。

問 表層土の入れ替えは、競技団体の指摘事項であることから、市の予算だけでなく、県の施設整備補助金の活用はできないのか。

答 指摘事項であることから、県の補助対象事業となるように協議を行っている。

問 グラウンドフェンスの一部未設置



倒壊したままの開間総合グラウンドのフェンス

や倒壊した状態のものがある。増設や改修の考えはないか。

答 高いフェンスの設置、未設置部分については新設、老朽化した部分については取り替えを検討している。

問 現在も駐車場の台数確保が難しいが、草スキー場を整備して活用する考えはないか。

答 今回のグラウンド整備で出た土を草スキー場に搬入し、整地をする方法も一つの考えであり、今後検討していく。

問 鹿兒島国体の女子ソフトボール競技には、1万数千人の観客が見込まれるが、仮設スタンドの設置とは別に、常設スタンド設置の考えはないか。

答 施設整備に向けて検討していく。



木原 繁昭議員

学校環境、教室の高温対策について

問 9月12日、丹波小で温度を計測した。涼風の吹く曇りの日だったが、鉄筋校舎2階と南側木造校舎2階では、壁・床が2・4℃、天井が2・9℃と、どちらも木造側が高かった。この木造校舎は断熱材が薄いため、天井からの熱放射が子どもたちの頭や机・床等に当たり、室温も高くなっているのではないか。

答 天井部分は、大規模建造物で一般的に使用される厚さ2・5cmの木毛セメント板が張られており、十分な断熱効果があると考えている。

問 この校舎の屋根の造り、断熱に関する考察は、設計・建設の時点で十分検討したのか。

答 風の通りがいいように、2階の天井部分を現し構造とし、広い空間を設けることで温まった空気が上昇し、上部の排煙窓から抜けるように設計されている。夏場の暑い時期等は、排煙窓や教室の窓などを小まめに開閉することで、風の通りが良くなるかと考えている。

問 暑さ対策で、排煙窓を開けると温

度が下がるということだが、実感がないとのことだ。教育委員会ですっかりデータを取っていただきたいが、どうか。

答 排煙窓を開けた場合と、そうでない場合の教室内の温度をきっちりと計ってもらい、開ける大切さを学校と共有したい。

問 温暖化の時代なので現状をしっかりと把握し、校内緑化や緑のカーテン、ミストシャワー等、来夏に向けた対策を研究してもらいたい。

答 子どもたちが快適な環境の中で学習し、学習したことが身に付いて生かされていくことが大切である。教育委員会としては、それぞれの教室の環境づくりにはさらに気を配りながら、学校と一緒に取組んでいきたい。



丹波小の現し構造の天井と排煙窓

その他の質問事項

○畑かん外区の農業用水の確保について

○地域子育て支援センター、子育てサポート、フリースペース設置、学童保育等の子育て支援について



前原 六則議員

農業振興について

問 福元地区の約180haのまとまった場所に、負担金・賦課金など農家負担が少ない方法で、農業用水確保のための開発ができないか。

答 南薩畑かん事業導入当時、地区の方々から同意が得られず、事業ができなかった。水源の確保・工事負担金・農地名義の問題など課題がある。しかし、農業振興の大切な問題であり、地域の総意の下、要請があれば事業導入に向けて協議をして、検討をする。

問 エコファーマーの認定者数は。

答 平成27年度が102人である。

問 エコファーマー認定農家のメリットは、産地間競争の中で高い価格で売ることだと思ふ。生産技術の確立には、JAとの連携が不可欠だと思ふが、現状は。

答 指宿市農林技術協会の中に、JA組織も加入しており、営農指導員との連携も密に行っている。エコファーマー制度の周知を図り、有利性を生かした販売に努める。

JR入野駅近くの踏切事故について

問 列車の軌道敷地はJRの所有であり、横断する際の注意は、一方的に横断者に課せられる。第4種踏切では、列車の接近を知らせる警笛を義務付けるようにお願いできないか。



地域住民らによって見通しが良くなった事故現場

答 JR九州では事故後、警笛を鳴らしている。また、JRと市、地域住民が連携して、踏切周辺のやぶを払い、視界の確保ができた。今後、自動車運転手などを対象にした安全意識の啓発の踏切安全講習会、市や関係機関等と第4種踏切等の在り方についての協議を実施する。警察では、踏切では一旦停止をし、窓を開け耳で音を聞き、安全を確認して線路に進入するなどの注意喚起を実施する。



高田 チヨ子議員

安心・安全な生活のために

問 市内に設置してあるAEDの活用状況は、どうなっているか。

答 本年8月末現在における救急出動によるAEDの活用はない。また、菜の花マラソン大会における過去10年間では、平成21年・第28回大会において3人、平成24年・第31回大会において1人にAEDでの処置を行い、蘇生・回復した。

問 AEDをコンビニ等に設置できないか。また、設置に向けた交渉や、市からの助成はできないか。

答 県内自治体では、コンビニに対する補助事業および設置の実績はない。コンビニにAEDが設置されることは、緊急時に場所が分かりやすく、24時間利用可能というメリットがあることは理解している。県内他市の動向を注視し、状況把握に努め、調査・研究をしていきたい。

問 けん引式車いす補助装置を、車いす利用者の避難誘導の資機材として、採用・導入はできないか。

答 今後、災害時の避難時要支援者へ

の活用について、調査・研究したい。また、このけん引式車いす補助装置は、少人数で避難時要支援者を避難させられることから、市内の福祉施設設置事業者にも紹介できればと考えている。

ふれあいプラザなのはな館について

問 県が解体しないとすると、予定されていた計画はどうなるのか。

答 県有施設については、平成28年3月31日付けで交わした譲与契約書の第4条において、県の責任において対応することが明文化されている。継続して県の責任で対応していただけるものと考えている。



設計者との早期解決が待たれるなのはな館の県有施設



高橋 三樹議員

市道岩本宮ヶ浜吹越線について

問 補助災害復旧事業による土砂を受け止める擁壁などを設置してもらったが、まだ一部で抜本的な対策が必要と思われる。整備計画はどうなっているか。

答 現在、抜本的な対策をすべく、今年度から交付金事業を取り入れ、詳細設計を発注しており、来年度以降は、用地買収と工事実施を計画している。

問 全部とは言わないが、高い所だけでも法面を削って、勾配を付けて、防護工事をするようなことはできないか。

答 現在、発注している詳細設計業務の中で、法面対策あるいは排水対策を含めて、検討している。

問 毎年のように崩れ落ちるのは、シラス台地で崩れやすい面と併せて、排水も原因の一つにあるのではないかと。排水対策が必要ではないか。

答 それぞれの畑は、法面に向かって緩やかな勾配・傾斜があるため、雨水が法面崩壊につながる一因になっ



大雨のたびに崩れる市道岩本宮ヶ浜吹越線

たということも考えられる。法面対策を検討することで、この排水対策も図られていくものと考えている。

市民の安全について

問 高齢者に対する防犯対策は、どのようになっているのか。

答 うそ電話詐欺等があり、認知件数・被害総額ともに増加している。市では、警察署、市防犯協会、市消費生活センターなどの関係機関と連携し、高齢者に対する講習会や各種相談、防災行政無線による広報などを行っている。また、地域安全運動期間中には地域内を巡回し、戸締りや鍵掛け等の防犯の診断を行うレッドカード作戦、大型スーパーなどで防犯のためのチラシの配布など、各種犯罪の未然防止活動を実施している。



白山 正志議員

なのはな館について

問 県の責任で解体することになっている部分については、本当に壊せるのか。

答 さまざまな経緯を経ながら情報を得た結果、恐らく壊すことはできないだろうと思う。

問 なぜそのようなになったのか。

答 建物の評価が世界的に高く、著作権がある。それに基づき、設計者が壊すことは認めないという強い意志を示した。これらが今年になって分かった。

不登校対策について

問 不登校児童・生徒の現状は、どうなっているか。

答 平成25年度が45人、平成26年度が44人、平成27年度が53人となっている。

問 市としては、どのような対策を取っているか。

答 本年度から市内の全小・中学校に設置した学校運営協議会に積極的に協議してもらい、関係機関との連携を深めながら、チーム学校として不登校を解消する取り組みをお願いしている。

小・中学校のエアコンの設置について

問 市内小・中学校の設置状況は、どうなっているか。

答 平成24年度に全ての図書館に、平成27年度には校長室と職員室に設置を完了している。

問 県内小・中学校の普通教室への設置状況は、どうなっているか。

答 全国の設定率は32・8%、県は31・1%となっている。本市は2・1%であり、特別支援学級の一部の教室に設置されている。

問 整備についての方針は、どうなっているか。

答 学校ごとに効果の高い高温対策を調査・研究しつつ、総合的に判断していきたくて考えている。



新川床 金春議員

地熱発電の影響について

問 地熱発電の関連予算が、平成28年3月25日・第1回定例会最終本会議で修正されたにも関わらず、住民の理解が得られたとして、県に平成28年3月31日に虚偽の記載で掘削申請書を提出していることについて伺う。

答 県への申請期限が28年3月31日で、28年4月5日に住民説明会を予定しており、住民の合意形成が得られたと申請した。

問 3月31日時点の市民の同意は何か。

答 4月5日の住民説明会への参加は150人くらいであり、何%かは把握していない。

問 議会の許可・同意をもらっていない中で、3月31日、国・県に間違った書類を出して、許可取得・交付税を申請してよいのか。

答 議会からは、当初予算の段階で専門家の意見を聴くべきとの指摘があった。申請期間が3月31日であることで、県に申請している。

問 地下1500mから温泉をくみ上げると、温泉に重金属類のヒ素が含まれると専門家から伺っている。基幹産業である観光業や農林水産業が大打撃を受ける心配がある中、県に申請しているが、絶対に大丈夫なのか。

答 調査する掘削井戸は、成分分析をした上で対処の方法を考えていく。

問 市民が置き去りにされている。トランプがあつた場合、市長・部長等が責任を負うという認識があるか。

答 当然だろうと思う。

かいもん荘跡地利用について

問 開聞地域の住民は10年間、我慢しながら待ち焦がれている。前回の公募との違いは何か。

答 10年我慢させ、申し訳なく思っている。これまでの無償の使用貸借だけでなく、新たに事業者による定期借地と売買を条件に9月公募を開始する。

その他の質問事項

○指宿市宮陸上競技場内のサッカー場について



外 蘭 幸吉議員

指宿市の交通状況について

問 指宿枕崎線は、高校生のためにも必要である。存続のため、JRに対して協力できることはないか。



9月からJR最南端の有人駅が復活

答 JRから委託を受け、山川駅乗車券類の簡易発売、改札および駅舎の清掃等の業務を行う。イベント等との連携、鉄道の利用促進や駅周辺地域の環境美化など、運行存続に向け、協力していく。

問 かつて、佐多の伊座敷と山川間、根占と山川間の2航路があり、山川港と種子島・屋久島間にフェリーの三角航路があったが。

答 山川―佐多航路は、昭和18年に木造船により航路が開設され、昭和40年にフェリーボート第2佐多丸が伊座敷に、根占には昭和43年にフェリー

1第3佐多丸が就航した。昭和55年、山川―佐多航路廃止。伊座敷港は可動橋が廃止され、湾も砂が相当堆積し、水深も浅い。三島・屋久島・種子島・十島にとって、一番近いのは指宿市である。海上トラリアングル(三角) 交通体系ができたらと思う。

問 市内の国道の整備状況はどうか。

答 指宿高校の周辺、北十町歩道整備事業は、秋元交差点から二反田川交差点までの歩道整備と交差点改良で、大園原交差点の改良事業とともに、引き続き用地買収、家屋移転等を実施していく。
鹿兒島までの追い越し車線を整備していくようお願いしていく。

問 脚光を浴びている「ドローン」は、災害等の対応、物資の輸送、測量等に使用されており、今後「ドローンポート」が必要ではないか。ドローンの運用は民間に任せ、ドローンポートで確保すべきではないか。

答 ドローンは、人が容易に立ち入れない場所にも接近できることから、災害現場の被災状況の確認等に活用されている。通信販売大手企業による商品宅配サービスの研究が行われているなど、物流の分野をはじめ、さまざまな作業分野において、その性能の高さを生かした活用が期待されている。その動向を注視していきたい。



中村 洋幸議員

新ごみ処理施設および不法投棄について

問 来年4月に指宿広域市町村圏組合の新しい焼却施設が稼働する計画であるが、現在の進捗状況はどうなっているか。

答 焼却施設・破砕処理施設等のプラントおよび管理棟が本年12月末に完成し、来年1月から3カ月間の試運転がなされ、4月から供用開始される予定である。

問 ごみ持ち込み車両の搬入道路の整備は、どのような状況か。

答 一般の直接持ち込み車両については、山川駅を経由するルートと市道成川首尾坂線を通じて搬入するル



道路幅が狭い市道成川首尾坂線

トに誘導を行う予定である。ごみ搬入後は、首尾坂線は道路幅が狭いことから、丈六成川線を通り、国道に出るよう誘導する計画である。

問 シルバー人材センターの草木の仮置き場については、把握しているのか。また、不法投棄には当たらないのか。

答 シルバー人材センター会員の個人所有地を、仮置き場として利用していることは把握している。仮置き場であり、不法投棄には当たらないが、長期間、草木が置かれていることから、好ましい状況ではないと認識している。

問 会員の皆さんは、依頼者の要望に沿って自分の持つ特技・経験・趣味を生かして、懸命に作業に取り組んでいた。大変ありがたいことだと思ふ。仮置き場は、平成19年から使用しているとのことだが、今後、シルバー人材センターにどのような処理計画を指導していくのか。

答 今後の草木の処分については、チップ化や堆肥化への可能性を検討するとともに、民間施設での廃棄処分など、環境面への配慮や利用者の負担増を考慮しながら、シルバー人材センターと協議していきたい。

その他の質問事項
○なのはな館について



下川床 泉議員

新知事誕生後の指宿市のまちづくりについて

問 日本一の観光地づくりについて、観光客の現在の動向、キャンセルの状況はどのようになっているか。

答 4月28日現在のキャンセルは、約3万5千人。市の商品券付き宿泊プランの実施と県のお得旅や国の九州ふっこう割も始まり、7月の宿泊は前年度比3・4%上回った。

問 新知事は、世界から人が集まる鹿児島、観光で日本一という約束をしている。NHK大河ドラマ・西郷どんの放送が決定し、チャンスだと思いが、その対策はどうか。



台風16号の被害調査で本市を訪れた三反園知事

答 県が日本一の観光地づくりを目指すのであれば、本市も目指す。そういう意味で、本市では新たな事業を展開しなければならぬと思ってる。

問 川内原発について、もしも原発事故があったときの影響、その場合の指宿市民の避難マニュアルはどうなっているか。

答 原子力災害における県の避難マニュアルは、半径30km圏内まで示されており、これに準じた指示があると考えている。

問 本市に避難したいちき串木野市民と指宿市民が一緒に避難しないといけない場合を想定して、海上からの避難も一つの手段だと考えるが、その対策はどうか。

答 船舶等については、必要に応じて県有船舶や民間船舶、海上保安本部、自衛隊等に支援や派遣を要請する。

問 子ども医療費助成制度について、窓口での一時払いを完全にゼロにするという提案について、どう考えるか。

答 県において現物給付方式の導入がされる場合、その実施に向けて県や関係機関と連携を取りながら取り組みたい。



前之園 正和議員

ヘルシーランド周辺の開発と影響について

問 8月31日に10人程度が、市長・副市長と面会をし、基本的な立場として今の計画を見直してほしいということの要請があったのではないか。

答 オウナー会（指宿観光受入代表者会議）のほとんどが反対していると思うが、それでも計画は推進するか。

県の温泉審議会への手続きとして、議会の了解がないもとで手続きを進めたことにならないか。3月31日に出された申請書の中に、4月5日の住民説明会で理解を得たという根拠になっているがどうか。

答 そのようには捉えていない。発言されなかった方もおり、発言された方々は、地熱発電は賛成だが、場所が好ましくないという話だった。

地熱発電は、短期的にはマイナス、中期的にはプラスというのがオウナー会の総意としていただいている。反対しているという認識ではない。可能な限り議会軽視ではなくて、事業を進めるためには、その取り得た当時としては適切だった。県には理解を得て、4月5日の住民説明会で理解を得られたという判断の中で申請をした。

3 医療費制度の改善について

問 子ども医療費、ひとり親家庭等医療費、重度心身障害者医療費について、県の制度として現物支給方式にするよう求めるべきではないか。子ども医療費については、高校卒業までを対象にできないか。



次代を担う子どもたちはまちの宝

答 3医療費の現物支給方式については、引き続き県に要望していきたい。子ども医療費は、平成27年10月診療分から、市として中学校卒業までに拡充したばかりなので、ご理解を賜りたい。県としての制度拡充については、引き続き要望したい。

その他の質問事項
○川内原発に関して

選挙（政治）に対する 高校生アンケート ～その2～

～県内18・19歳の投票率～

鹿児島県選挙管理委員会は9日、7月の参議院議員通常選挙鹿児島選挙区で、選挙権年齢の18歳以上への引き下げに伴い、初の有権者となった18歳と19歳の投票率を発表しました。

18歳は43.06%（全国40位）、19歳は34.33%（同35位）で、18歳と19歳を合わせた投票率は38.94%（同40位）でした。県全体の55.86%を16.92ポイント下回っています。

指宿市では、18歳が50.65%、19歳が40.4%で、18歳と19歳を合わせると45.22%となっており、日置市の47.61%、徳之島町の46.44%に次いで、県内で3番目に高い投票率となっており、選挙に対する関心の高さが伺えます。



選挙権年齢が18歳以上に引き下げられ、初めて行われた国政等選挙に合わせて、市議会では、市内3高校に通う3年生を対象にアンケートを実施しました。今回は、自由意見として書かれた高校生の本音を紹介します。

選挙に関すること

■選挙権の年齢を引き下げたが、あまり政治に興味がないので、もっと若い人が興味を持ち、分かるようにしてほしい。

■選挙権を持ったたら、投票に行きたいと思うが、今は政治や選挙に全く興味がありません。

■学校の授業だけではあまり分からなく、興味がわいてこないの、話などをききたい。

■高校生が政治や選挙にもっと興味を持つように、学校で学ぶ機会を増やすといいと思う。

■選挙権が18歳に引き下げられたことによって、若い人の意見が反映されるから良いと思った。

■高校生向けの言葉で「私は○○に力を入れていますので、どうぞよろしく！」と紹介してほしい。

■政治のことは少し難しいと感じ、あまり今まで触れることはなかったけど、18歳から引き下げになったことで、社会や政治について知る機会がたくさん増えたのでよかったと思う。

■政治に関心がないのではなく、言葉や仕組みが難しく、その意味自体が分かっていない。もう少し分かりやすく教えてほしい。

■今回の選挙から18歳に引き下げられ、そこから少し選挙に興味を持ち始めた。私はまだ選挙権がなかったの

で、投票はできなかったが、次回からは参加できるので、投票に行きたいと思う。

■今回は誰に投票すればいいのか分からず、行きませんでした。次はしっかりと調べて勉強して投票したいと思った。

■大人が子どもを選挙会場に連れて行き、どのような場所なのかをしっかりと理解させるように、選挙会場でも講義をやるように思う。

■誰に投票しても、今の現状は変わらないと思う。

■国民として積極的に選挙に参加したい。そのためにも、自ら情報を得ることは大事だと思う。

■投票の仕方とかよりも、政治家それぞれの政治のやり方などを詳しく教えてほしい。

■選挙の際、当日だけテレビ放送するのではなく、その前日にも立候補者の演説をテレビで行ってほしい。

■選挙カーに乗って演説するよりも歩いて演説した方が、地域の人々と触れ合えると思う。

■毎回ののくらの人が立候補しているのか気になる。

■選挙の立候補者が少なすぎだと思う。

■投票をする時に、意見を書く欄を設けてほしい。

■参議院は必要なく思う。

政治と聞いてあまり分らないし、周りの意見を聞いても、いい評価がなかったりですね。

選挙活動は主にどんなことをするのか知りたい。

テレビなどで有名人が選挙に行くよと呼び掛けるべき。

選挙カーが授業や模試の妨げになっている。

施策等に関する声

海外へのホームステイに参加しやすいようにしてほしい(経費の負担)。

大学の授業料をなくしてほしい。

今の日本は何かと問題だらけで、安心して暮らすことが難しく、安全に生活できていない気がします。そこを何とか問題を解決していけたらいいなと思います。

戦争に行きたくない。

介護士や保育士は「人手が足りない」と社会では言っているが、もう少し給料を上げるべきだと思ってる。「足りない」と言っているわりには、給料が少なすぎる。

対案も出さずに批判しかない野党はいらわないと思う。国会では時間厳守の話合いを。

この選挙の結果が民意なので、重く受けとめてください。マスコミはもっとちゃんとしてください。

私たちの未来を憲法で縛るようなことがないようにあってほしい。

国民に分かりやすく、良い変化を見せてほしい(消費税8%→5%など)。

消費税についてもっとわかりやすくしてほしい。苦労ばかりが増えている。

とりあえずこの世界をつくってほしい。安心安全な国。

若い世代の声をもっと今の政治に反映してほしい。

新知事に関する声

知事が代わったので楽しみ。

三反園さんに原発を止めてほしい。

新しい知事にチェンジしたからには、何か新しいことを始めてほしい。

当選した後の三反園さんのインタビューで、今後の具体的な計画についての質問に対し、「これから考えます」などと答えていたの、選挙の前から具体的に考えていたのではないのかと少し心配になった。

市への要望

もう少しベンチや休憩場などを増やしてほしい。

子どもたちが遊べる公園を増やしてほしい。

イベントを増やしてほしい。

指宿市宮野球場をきれいにしてほしい。

指宿高校3年生議会について学習

指宿高校の3年生17人が、9月14日の一般質問の傍聴に訪れました。議場の雰囲気を感じた生徒からは、「傍聴しているこっちにも張り詰めた空気が伝わり、集中して聴くことができた」「地域の問題点が多く出されていて、市だけでも多くの改善点があるのだと感じた」「市の改善や活性化は、市議会での話し合いのもとに行われていることを知ることができた」などの感想が寄せられました。

また、10月7日にも同生徒らが議会事務局を訪れ、職員から市議会に関する説明を受け、議会制度や仕組みなどを学びました。

これを機に、若い世代が、より政治に関心を持ってほしいと願うばかりです。



議会活性化のツールとしてタブレットの運用を開始

指宿市議会では、ペーパーレス化による経費節減をはじめ、議員の利便性向上や事務局の負担軽減など、議会の機能性向上や活性化を図るため、ICT推進に関する特別委員会を中心に、タブレット導入に向け、調査・研究を行ってきました。

6月定例会において予算化し、9月定例会から全議員にタブレットを貸与して運用を開始しました。

タブレットの導入により、議案や参考資料など、これまで議場に持ち込んでいた多くの紙資料がタブレットに集約され、必要な資料や情報が容易に検索可能となりました。

今後も、議員活動をはじめ、市民の皆さんへの情報提供など、さまざまな場面で活用してまいります。



平成28年第3回定例会（9月） 議案等一覧

※全会一致は*、賛否が分かれた案件は賛成○・反対◆で記載

松下議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については、本会議での表決（賛成・反対の意思表示）権はありません。

議案番号	氏名	外	白	恒	井	吉	西	浜	東	高	森	高	福	前	前	木	中	新	下	新	松	議決結果	
		蘭	山	吉	元	村	森	田	東	田	森	橋	永	原	之	原	村	川	川	宮	下		
		幸	正	太	仲	重	三	藤	仲	時	三	徳	徳	六	正	繁	洋	金	泉	領	喜		
		吉	志	吾	明	則	義	幸	行	子	樹	郎	則	和	昭	幸	春	進	久	雄			
79	平成27年度指宿市一般会計歳入歳出決算の認定について																						
80	平成27年度指宿市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について																						
81	平成27年度指宿市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について																						
82	平成27年度指宿市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について																						
83	平成27年度指宿市温泉配給事業特別会計歳入歳出決算の認定について																						—
84	平成27年度指宿市唐船峡そうめん流し事業特別会計歳入歳出決算の認定について																						
85	平成27年度指宿市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について																						
86	平成27年度指宿市水道事業会計決算の認定及び剰余金処分について																						
87	指宿市定住自立圏形成方針について	○	◆	○	○	◆	○	○	○	○	○	○	○	○	◆	○	○	◆	○	○	—	原案可決	
88	指宿市ひとり親家庭等医療費助成に関する条例の一部改正について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
89	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第10号)について	修正案	◆	○	○	○	◆	○	○	◆	◆	◆	◆	◆	○	◆	○	○	◆	—	可決		
		修正部分を除く原案	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	可決
90	平成28年度指宿市国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
91	平成28年度指宿市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
92	平成28年度指宿市温泉配給事業特別会計補正予算(第2号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
93	平成28年度指宿市唐船峡そうめん流し事業特別会計補正予算(第2号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
94	平成28年度指宿市公共下水道事業特別会計補正予算(第2号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
95	平成28年度指宿市水道事業会計補正予算(第2号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決
96	平成28年度指宿市一般会計補正予算(第11号)について	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	—	原案可決

【陳情書】

4	指宿山川太陽光発電開発に伴う大規模林地開発反対に関する陳情書	閉会中の継続審査(総務水道委員会付託分)	—
9	「地熱発電所新設」に関する反対陳情書	閉会中の継続審査(総務水道委員会付託分)	

* 傍聴においでください *

平成28年第4回定例会（12月議会）が下記のとおり予定されています。

招集・議案上程	11月30日(水)
総務水道委員会	12月5日(月)
文教厚生委員会	12月6日(火)
産業建設委員会	12月7日(水)
一般質問	12月15日(木)・16日(金)・19日(月)
委員長報告・表決	12月22日(木)

※会議は午前10時から開催される予定です。
日程等は変更されることがありますので、傍聴の際にはあらかじめ市議会事務局までお問い合わせください。(TEL 22-2111 内線511・512)

編集後記

スポーツの秋ですね。秋晴れのもと、今年も市内の各学校や多くの地域で、運動会・体育祭が盛大に開催されました。

その中で、小学校と校区が毎年合同で行っている運動会に参加して来ました。児童と地域の方々が一緒に行う運動会は、一体感があり、全員が主役。伝統を受け継ぐ姿には、学校を地域の皆さんが大切にしている気持ち伝わってくる、愛情あふれるステキなものでした。

これからも一人ひとりが主役となるまちづくりを目指していきたいものです。

広報委員 恒吉 太吾